

1 学習の到達目標

ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図るとともに、特に「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」「書くこと」の活動を通して、ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。

C 主体的に学習に取り組む態度

3 評価の観点

特に「話すこと（やり取り）」、「話すこと（発表）」、「書くこと」の活動の上で必要な、言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力を養成できたか。

観点別評価の計画基準					
3観点		評価方法			
知識・技能		・定期考査・小テスト等		英語を読み・書き・話すために必要な音声・語彙・文構造・文法を理解し、英語を運用するための技能を身につけていること。	
思考・判断・表現		定期考査・プロジェクト・プレゼンテーション・グループワーク等		さまざまな課題を通して身につけた知識や技能を使って、英語を読み、聞いたときに、内容の概要や要点を把握できること。自分の意見や気持ちを英語では無し、書いて、相手に伝えることができること。	
主体的に学習に取り組む態度		・授業態度・提出物等		・英語を勉強する意義や必要性を理解し、実際に使ってみようとする意欲や態度・自分の英語力や学習状況を把握し、学習方法を自ら改善しようとする態度。。・設定された期限までに課題を完成させるのに必要な時間管理能力。	